

KEYAK!

1月号

新年あけましておめでとうございます。

毎年のことですが、年を新たにすると、今までできていなかったことが次々と浮かんで、あ～今年こそは！などと気持ちを奮い立たせたりします…がその年も同じように暮れてゆくのです…あれをやらねば！これをこのようにしなければ！と思ってしまう自分がいるようです。決して完璧にこなすことなどできはしないのに。そんなことをつらつら考えていたころ、「まあいいじゃない」という文字を目にしました。それは認知症の方を見ている介護士の言葉ですが、細かいことは気にせずに、おおらかに相手を受け入れて共に過ごすための合い言葉のようなもの。相手も自分自身をも縛り付けることなく暮していけたら良いな、というお話でした。そうですね。気を楽に、できることから始めましょう。

園長の年頭挨拶にも「何かにつけて遊びの要素を取り入れて楽しく過ごして行こう」とありました。これから迎える3学期の活動の数々。子ども達のアイデアや工夫、発想、想像力を存分に引き出し、認め、共に楽しめる大人でありたいと思います。

ところで、休み中に園に大きな変化がありました。いつもみんなを見守ってくれていたおおきなおおきなけやきの木が、枝を下ろしたのです。かなりのおじいさんのため、大きく張り出した枝を支えきれずに園舎に落ちては大変です。万一のことを考えての決断でした。年長さんのお泊まり保育に現れ、リレーでこどもかいでは子ども達に力をくれ、年中さんには忍者を遣わしてくれたけやきの木のかみさまと、心のよりどころとなっていたけやきの木。すっかり明るくなった空を見上げ、けやきの木のかみさまはどこへ？と思うかも知れませんが、実態がそこにあるわけではありません。思う気持ちを大事にしていきたいものです。園長曰く「夏にはバオバブの木みたいになっているよ！」

職員一同、今年もよろしくお願ひいたします。

(坂本)

今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）

3歳

- ・ごっこ遊びなどにおいて、イメージを共有するだけでなく、ストーリーを次々とイメージし
あそびをふくらませていく
- ・描くことや作ることの基本的な技術を習得することによって、さらに興味をもって楽しめる
(経験の幅をひろげる)
- ・冬の自然事象に興味を持ち、友達と発見したり触れたりしてあそびに取り入れて楽しむ

4歳

- ・クラス、グループでひとつの目的を共有できる
- ・自分なりの力を発揮しながら、目的にむけて工夫したり繰り返し取り組んだりする
- ・冬の自然にかかわって遊びながら、様々なことに気づいたり感じたりする

5歳

- ・やりたい遊びが増え、友達を誘い相談しながら工夫、発展させていく
- ・見通しを持ってある期間集中して取り組める
- ・自分達で大まかなスケジュールを考え、それに沿って生活できる